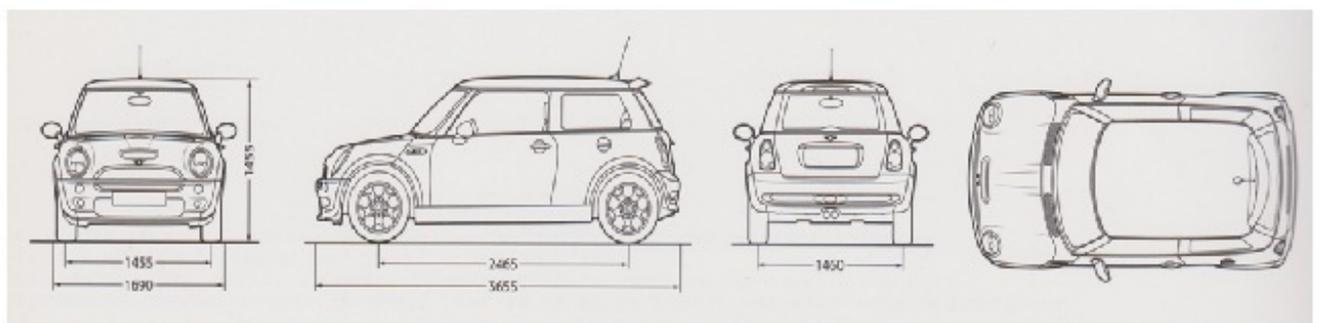


# Running in the Wind

## ハイパー・ブルーの彼方に



其の式

## MINI Cooper S (GH-RE16)

<http://p.booklog.jp/book/38340>

著者 : lauriercb4004in1

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/lauriercb4004in1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/38340>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/38340>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.



妻籠宿は、中山道42番目の宿場(中山道六十九次)で、現在は長野県木曾郡南木曾町の蘭川(あらざがわ)東岸に位置します。

隣接する馬籠宿(岐阜県中津川市)と、馬籠峠を越える旧中山道史蹟と合わせて木曾路を代表する観光名所として名高いです。

江戸と京を結ぶ中山道と、信州と三河を結ぶ伊那街道が交差する妻籠宿は、交通の要衝として大層賑わっていましたが、明治になり新道や鉄道ができると宿場としての機能を失って、急速に衰退し明治時代に入ると、木曾川本流に沿って中央本線と国道19号線が開通し、峠越えの道沿いに在った妻籠宿は、往来から取り残されます。

戦後、時が止まったかのような妻籠宿のたたずまいが見直され、昭和51年(1976)に国の重要伝統的建築群保存地区の指定を受け、全国の古い街並み保存運動の先駆けになりました。

自宅から走り慣れた国道257号線を北上、恵那市から快適な国道19号線を右折し、国道256号線で妻籠宿に到着しました。

国道256号線に一番近い第1駐車場は、観光バス専用で車を停める事が出来ないの、しばらく走った第2駐車場は満車で停める事が出来ないの、妻籠橋を渡った所にある中央駐車場に車を停めました。



(駐車券)



(中央駐車場の案内看板)



(尾又橋)

中央駐車場から少し歩いて尾又橋を渡り、妻籠宿に向かいます。

普通に見て回っても面白くないので、駐車場で貰った観光案内図と同じ場所を探しに宿場町を散策します。

観光案内図には妻籠宿と言う宿屋は、無いので宿屋を一軒一軒、見て回る事にしました。





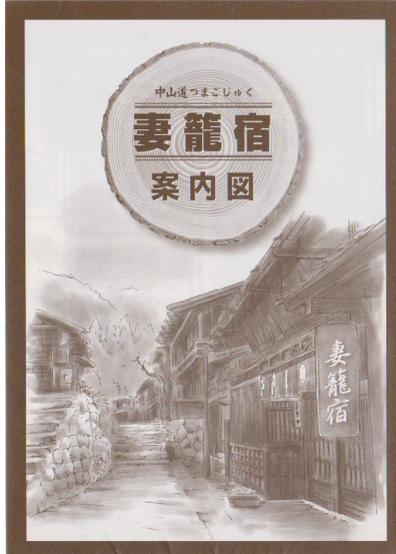
(妻籠宿の風景)

ご当地アイスクリームを発見！店屋の縁台に座って一休みです。



(ご当地ソフトクリーム栗きんとんアイス)

再び、ぶらぶら散策しながら、似ている場所を見つけました！



(妻籠宿の案内図と似ている風景)

妻籠宿を散策し終わったので駐車場に戻り、県道7号線で馬籠宿に向かいます。  
馬籠峠が渋滞しているかと思っていたが、県道7号線は行き交う車が無く以外に予想外！



(馬籠峠頂上付近)

峠越えが終わって、あと1kmで馬籠宿です。





(馬籠宿風景)

石畳に千本格子が昔、懐かしい佇(たたず)まいの茶店や土産物店も、こぢんまりとした深い味わいに風景です。





(お土産屋さん)

帰路に着き為に駐車場に向かう途中の道筋で、ご当地マンホールを発見！



(ご当地マンホール)



日坂バイパス(国道1号)から福用バイパス(国道362号)を經由し、大井川を見ながら快適な山道を走り、千頭から県道77号で寸又峡方面へ向かいます。



(寸又峡温泉入口)

寸又川は高低差100m・全長約16km、激しい下刻作用によって、複雑に入り組んだ流れが特色で穿入蛇行、貫流丘陵などは独特の地形、今でも浸食が激しく原生自然林が多く残る秘境であり南アルプス登山の入口でもある寸又峡。



(日本カモシカのモニュメント)

寸又峡プロムナードを通り、天使トンネルを抜けると夢の吊り橋。  
トンネルの中は山から湧き出ている水で、川が出来ていて歩ける場所は限られています。



(天使トンネル)

トンネルを抜け、しばらくすると入口のゲートが見えてきます。



(夢の吊り橋ゲート入口)

ここから夢のつり橋まで1.3Km！歩いているとニホンザルを見つけ写真を撮ろうとしたが逃げてしまった。



(遊歩道から見た夢の吊り橋)



(現在地案内看板)

夢の吊り橋は、人が通る幅は1人分しかない為、観光客が多い日には一步通行となり一度渡ると引き返す事が出来ないし、吊り橋を渡りきると急な登り坂が続く、歩行に自信のない人は吊り橋を渡ってはいけない。

吊り橋を渡るときは、2~3m前方に視線をおき、吊橋の揺れが上がった時に足を下ろすとタイミングよく渡れます。



(ここから吊り橋を渡る)

南アルプスの麓にある大間ダムにせき止められた人造湖の上を渡る、長さ90m、高さ8mの吊り橋は、大間川と寸又川の合流点にかかっており毎日、色が変わるダム湖や寸又峡谷が見渡せ、一度に10人しか渡れないので、行楽シーズンには待ち行列ができ、吊り橋のまん中で若い女性が恋のお祈りをすると夢が叶うとされています。

上流地域は手付かずの自然が多く残り、原生自然林保存地域にも指定され、飛龍橋や散策路は以前からであった為、その名残として観光遊歩道として再生され紅葉の季節は格別に美しく、また夏場の観光客も多いです。

前の人の影響で、かなり揺れる！前の人を渡り切ってから真ん中で記念撮影！



(つり橋の真ん中で！)

夢の吊り橋を渡り切ると急坂の登りの階段が延々と続いている・・・。



(かなりの勾配・・・。)

登り切った時は、久々のかなりの運動量で、息切れはするし足はガクガクで歳を感じる・・・。



(遊歩道の案内看板)



(飛龍橋までの道)

展望台まで行き、折り返して350m先の飛龍橋に向かうが、所々に岩が落ちているが新緑の緑が鮮やかで、汗をかいた体に涼しい風が気持ちいい！  
舗装された道を数分、歩いて飛龍橋に到着しました。



(飛龍橋)

お腹が空いたので、お土産屋さんで山菜そばを食べて帰路に着きました。



(お土産屋さん)



(山菜蕎麦)



北陸自動車道を走り福井北インターで降りて永平寺に向かいます。



(永平寺まであと少し)

門前町に入るが何処も駐車場は満車！車をお土産さんの駐車場に車を置いて、帰りに買い物すれば駐車場料金はタダと言う事で置かしてもらいました。

永平寺は現在、曹洞宗はここ永平寺と、横浜の総持寺の二寺が大本山となっている、永平寺総持寺は曹洞宗の宗祖・道元(1200～1253年)によって開山されている。

曹洞宗の4世太祖瑩山によって1321年(元亨元年)によって開山され、1615年(元和元年)江戸幕府によって永平寺と共に曹洞宗の大本山に認定された。

本山が二つあるというのも珍しいかと思うが、実際かつては永平寺と総持寺の間で本家争

いが有った事は事実である。

一面に苔が覆い樹齢700年に近い老杉の大木など、杉を中心とした数多くの樹木がうっそうと天高くそびえる参道を進むと、石段の上の唐様の勅使門が目にとまります。



(一面に苔が覆い、樹齢700年に近い老杉の大木)



(唐門)

曹洞宗の4世太祖瑩山によって1321年(元亨元年)によって開山され、1615年(元和元年)江戸幕府によって永平寺と共に曹洞宗の大本山に認定され、本山が二つあるというのも珍しいかと思うが、実際かつては永平寺と総持寺の間で本家争いが有った事は事実である。



(永平寺境内)

境内の奥に進むと永平寺川が流れていて、川に沿って散策。

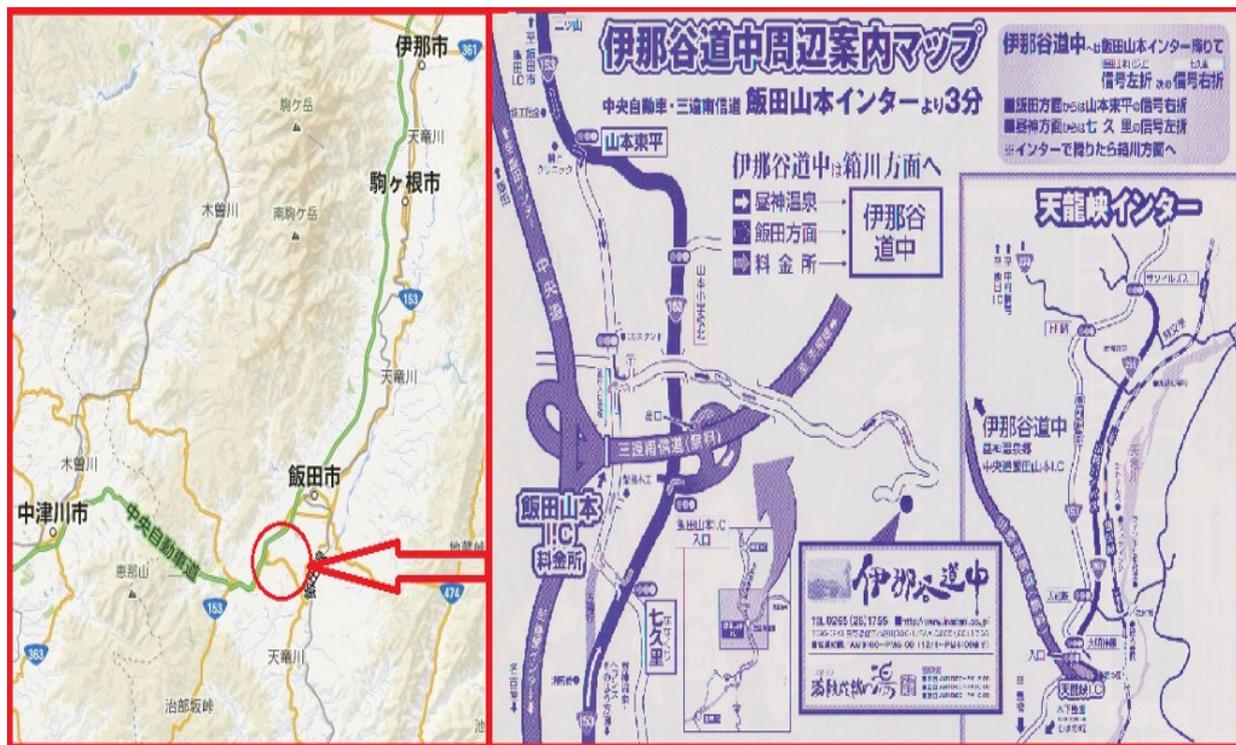


(永平寺川周辺)

ここまで来ると、さっきまでの人混みが嘘のように静かな場所、観光客が殆どいないです。



(偃月橋(えんげつきょう)周辺)



走り慣れた国道257号線から国道153号線で伊那谷道中に向かうが飯田山本付近で、記憶に無い新しい道路、三遠南信道に通じる道路が開通し交通状況が変わり、カーナビは道路の無い場所を指示している・・・。

近くまで来ているのに伊那谷道中の看板が何処にも出ていないので感で走っていたら、伊那谷道中らしき施設が見えてきました。



（伊那谷道中の周りの風景）



（伊那谷道中らしい施設？）

江戸から昭和初期にかけての伊那谷の街並みを再現し、園内には、体験工房や伝統工芸館など、30以上の多彩な施設が集まり伝統産業の体験や食事などが楽しめます。



(園内マップ)

伊那谷道中の入り口、長屋門に向かって左手側、駐車場の一角に売店兼お食事処および屋さんがあります。

信州蕎麦やリンゴのお菓子などなど、信州を代表する名産品や銘菓、珍味(蜂の子)、地元で取れた新鮮な野菜や農産加工品など、種類豊富な、お土産が沢山です！

園内の入口長屋門は茅葺屋根の門構えです。



(売店兼食事処)



(茅葺屋根の長屋門入口)



社の番所で入場券1,300円を購入して園内に入りました。



(入場券)

関所で入場券を提示してから園内に入れます。



(関所)



(昔の街並み)



見学ルートが有る様で、後で気が付いたのですが、逆走して園内を回っていました。30数年前に飯田で発見されたヤマアジサイは飾りガクが白、ピンク、赤へと変化し、伊那道中では地元の宝物として大切に育て、現在では1,000株ほどの群生に成っています。まだ、ほとんどが白いガクでした。これからだんだんにピンクに変化し、7月の中旬には紅色のヤマアジサイになります。





(紅ヤマアジサイ)

紅道中の期間は、園内で紅アジサイを販売しています。

呼び込みの、おじさんの褒め上手の勢いに負けたのと、小ぶりの花が気に入って一株購入しました。

mountain hydrangea

伊那公園 紅道中

紅ヤマアジサイ  
2008年夏に園内で栽培されたヤマアジサイ  
飾りアジサイ。ピンク・紅色へ白変化する珍  
しいアジサイで、伊那公園中では唯一の豪華  
なものと大賞に輝き、現在は1,000株ほどの数  
を誇ります。

● 紅道中の期間は、園内にて  
紅ヤマアジサイの販売!

期間は  
6月中旬  
7月中旬  
7月中旬

2008年 6月14日(土) ▶ 7月18日(日)

■ 紅ヤマアジサイ写真コンクール開催 ■ 紅 お宝道中(クイズラリー)

● 6月14日(土)～17日(日) 1日1人1回まで参加可  
● 賞品は豪華なものが揃っています  
● 作品は返却いたしません。● 写真賞 ● 賞状頒布

● 7月6日(土)・8日(日) 紅道中大抽選会

昭利館完成

ひかひかしいお宝がいっぱい詰まっている  
紅道中お宝道中の豪華な抽選会まで、  
ごかしごかしのお宝探し、さあ、さあ!

伊那公園 紅道中

TEL. 0265(28)1755  
http://www.inadani.co.jp  
Eメール: furusato@inadani.co.jp

伊那公園 紅道中 抽選会  
伊那公園 紅道中 抽選会 8:00～17:00まで

● 抽選会参加券 ● 1200円

伊那公園 紅道中  
大人 1,300円を 950円  
伊那公園 紅道中 大人 600円を 450円  
伊那公園 紅道中 大人 600円を 400円  
伊那公園 紅道中 大人 300円を 200円

(紅道中ポスター)

園内の一番奥にある水晶の池は山里の風景を再現しているけど、人の手が入り過ぎて綺麗すぎます・・・。



(水晶の池付近の風景)

杜のぼっぼ号が定期的に走っています。



(杜のぼっぼ号)

う～ん！チョット期待外れの園内だったけど、紅アジサイが買えたので、良しとして帰路に着きました。

伊勢自動車道には、頻繁に覆面パトカーが走っていて一見、普通の乗用車で、ヨ〜ク見ないと覆面パトカーとは分かりません。

伊勢自動車道は、松阪インターチェンジから伊勢西インターチェンジ間は、最高速度が80km、100kmで走行していても【+20km】の速度超過となります。



伊勢神宮は、伊勢の地名の付かない「神宮」で、他の神宮と区別する為、「伊勢神宮」と呼ぶ事もあり、親しみを込めて「お伊勢さん」「大神宮さん」とも言う。

本来は、神宮と言えば明治神宮でも熱田神宮でもなく「伊勢神宮」を指し、神社の中でも別格の日本の総氏神とされる神社で、伊勢神宮は外宮と内宮とに分かれており、内宮の祭神は日本神話の最高位の神様である天照大御神です。

また、ご神体は三種の神器の一つ、八咫鏡です。

伊勢神宮とは、伊勢の宇治の五十鈴川上に、御鎮座の皇大神宮内宮と、伊勢の山田の原に、御鎮座の豊受大神宮外宮及び別宮など125社神社の総称です。

伊勢インターで降りて、外宮に向かうが道路は空いていて北御門駐車場は、思っていたよりも空いていて車を置く事ができました。



(外宮の案内)



(外宮駐車場案内看板)

表参道火除橋を渡り、第一鳥居をくぐって御正殿に向かいます。



(表参道火除橋)



(第一鳥居)

第二鳥居を過ぎて、右手の神楽殿を過ぎると右に分かれる三差路があり、右に折れ建物に沿って進むと御正殿の鳥居と門の屋根が見えてきます。



(御正殿)

参拝した後で、三ツ石を見学していると注連縄の中には潜り込んで直に石に触る人もいて

、注連縄や紙垂(しで)の意味さえ知らない様子・・・。

注連縄で囲ってある意味を考えて頂きたい。



(三ツ石)

亀石は、参道に敷き詰めてある石で外宮正殿前の道を曲がり、別宮の参拝へ向う水路に架かる石橋で、この何気ない平たい大きな石は、亀石と呼ばれ、石橋の端に突き出た部分が亀の頭に見えます。



(亀石の全体)



(石橋の端に突き出た部分)

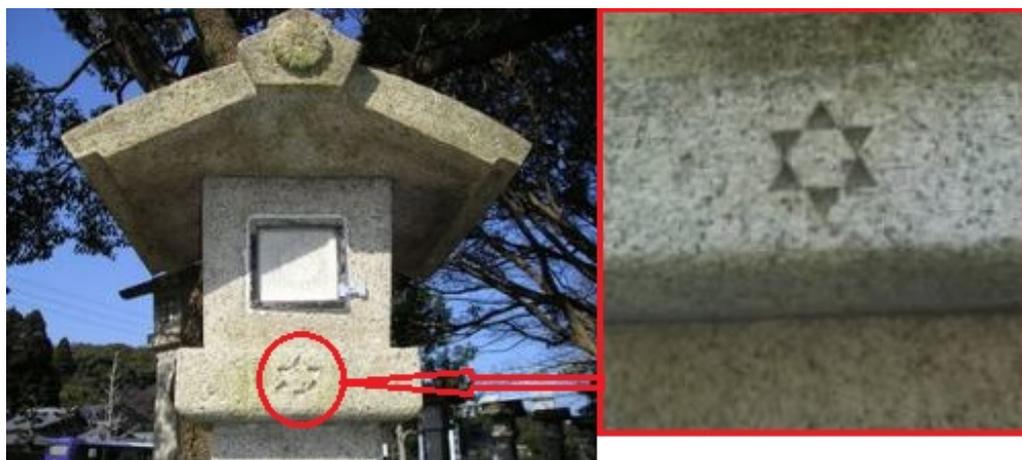
参道を戻って駐車場に戻り、渋滞を覚悟で内宮に向かったが、県道32号(御木本道路)と国道23号(伊勢街道)の合流地点から物凄い渋滞が始まる・・・。

誘導員の指示に従って車を五十鈴川の河川敷臨時駐車場に置く、ここも既に満車状態！



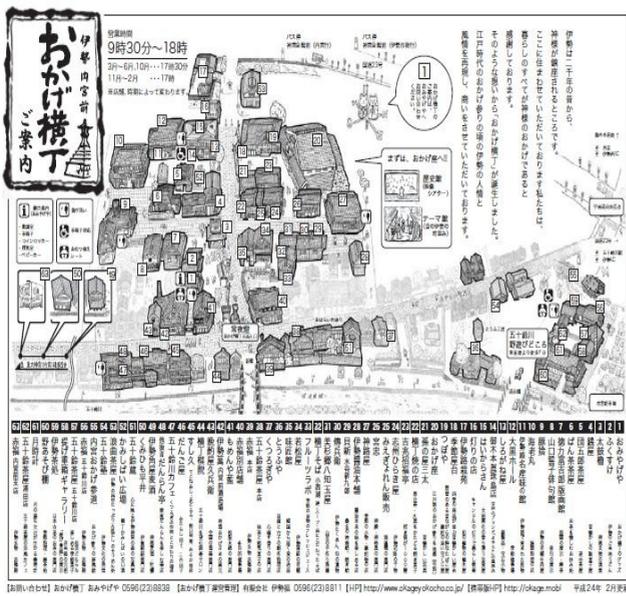
(河川敷が車で埋まっている！)

車を置いて内宮に向かうが、27年前にオートバイツーリングで参道に奉納されている、ダビデの星の紋章の石塔を探しに来た時、以来で雰囲気が変わり当時おかげ横丁は無かった！(遙かなる青空の彼方に 紀伊半島編に掲載)



(ダビデの星の紋章に類似している)

駐車場から新橋を渡り、おかげ横丁の人混みを抜けて歩く事、数十分！宇治橋大鳥居が見えてきました。



(おかげ横丁案内図)

おかげ横丁は、参拝が終わった帰りに寄る事にして内宮に向かいます。  
 大鳥居の前には盆栽をそのまま大きくした様な枝ぶりのいい松の大木がそびえています。



(内宮の案内図)

(宇治橋大鳥居前駐車場)

一礼をして神様の領域に足を踏み入れさせていただきます。



(内宮の現在地案内図)

大鳥居をくぐり、神域の玉砂利を踏みしめて、一の鳥居を過ぎると右手に川原祓所があって、下のほうへ降りていくと御手洗場。ここで心身を清め、日頃の怒りや悲しみ、悩みなど心の汚れを川に流して素直気持ちで、御正殿にお参り。



(五十鈴川御手洗場)



(五十鈴川見た宇治橋)

人の流れに沿って歩いていると参道は深い森につつまれ静かで、聞こえるのは玉砂利を踏みしめる音と時々、上を見上げる木々の間から木漏れ日が差し込んできます。しばらく歩いていると参道の真ん中に神宮杉が見えて来たら、いよいよ目的の御正殿までもう少し。



(神宮杉)

ここから御正殿へ進む階段を上り、この階段は青い石で組んであるのですが、踏みしろが広すぎてとても人が上るには、一歩ずつで上るのは歩きづらいです。

この御正宮の前の石段は、全部で39段、一段一段の踏みしろ(一段の奥行)が広い、それは神馬の歩幅に合わせてあるからだそうです。



(御正殿に進む階段)

御正殿に到着しました。



(御正殿)

姿勢を正して、一呼吸置いて、一礼、静かに鳥居をくぐります。

御正殿の前に立って、二礼二拍手一拝。

参拝が終わったので後は、おかげ横丁で軽く食事をして、お土産を買って帰るだけ。



(参道からの大鳥居)

この大鳥居をくぐり軽く一礼、宇治橋を渡ってまた大鳥居をくぐって一礼、神様に「ありがとうございました」とお礼です。

おかげ横丁は、人で身動きが出来ない！混雑！

伊勢に来たのだから【伊勢うどん】を食べてみたいと思い、人混みの中を空いている店を探すが中々ない。

【伊勢うどん】の看板を目印に入った店が、観光客の入りが少ない店で不安が過る・・・

。



(おかげ横丁)



(伊勢うどん)

たまり醤油に鰹節やいりこ、昆布等の出汁を加えた、黒く濃厚なつゆを太い麺に絡めて食べる【伊勢うどん】！入った店が悪かったのか美味くなかった・・・。  
帰りは本店の赤福を御土産で買って帰路に着く。



(赤福本店)



(お土産で買った赤福)

伊勢湾岸自動車道を降りて会場に向かう途中で、ネズミ捕り！！

会場の駐車場は各オーナーの改造車や旧車が有って駐車場で一台一台を見ているだけでも楽しい！！



ハコスカやケンメリ、トヨタ2000GT、CB750、Z2など1970年代を代表する車たちが一堂に集まるのもいいけど！なんと言っても一番の魅力は、マニアには堪らないミニカーの販売や掘りだし物の、お宝が各ブースで販売されています。

BP名古屋ノスタルジックカーショー-2008  
 同時開催：名古屋プレミアムMCショー  
 会期 ■ 2008年6月21日(土)・6月22日(日)  
 10:00~17:00  
 会場 ■ ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)1号館  
 主催 ■ BP名古屋ノスタルジックカーショー実行委員会  
 後援 ■ ノスタルジックヒーロー、オールドタイマー [順不同]  
 特別協賛 ■ BPLブリカンツ株式会社  
 特別協力 ■ 株式会社サークルKサンクス  
 お問合せ / 名古屋ノスタルジックカーショー実行委員会事務局  
 TEL. 0120-750-043  
 当日券 ¥2,000 【消費税込】 ※小学生以下無料  
 発行日：2008/06/22  
 1256703501253201 サークルK 浜松和合店

**サークルK**

BP名古屋ノスタルジックカーショー-2008  
 同時開催：名古屋プレミアムMCショー  
 会期 ■ 2008年6月21日(土)・6月22日(日)  
 10:00~17:00  
 会場 ■ ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)1号館  
 主催 ■ BP名古屋ノスタルジックカーショー実行委員会  
 後援 ■ ノスタルジックヒーロー、オールドタイマー [順不同]  
 特別協賛 ■ BPLブリカンツ株式会社  
 特別協力 ■ 株式会社サークルKサンクス  
 お問合せ / 名古屋ノスタルジックカーショー実行委員会事務局  
 TEL. 0120-750-043  
 当日券 ¥2,000 【消費税込】 ※小学生以下無料  
 発行日：2008/06/22  
 1256703501253202 サークルK 浜松和合店

**サークルK**

究極のディフォルメ全長3.58mの世界一BABYなCOBRAです。

1960年代、世界中を魅了した、あのレーシングマシン！



(憧れのBABY・COBRA 40.27ci/660cc)

憧れのCBナナハ！750ライダー(石井いさみ・作)の主人公の早川光が乗っていたなあ～。



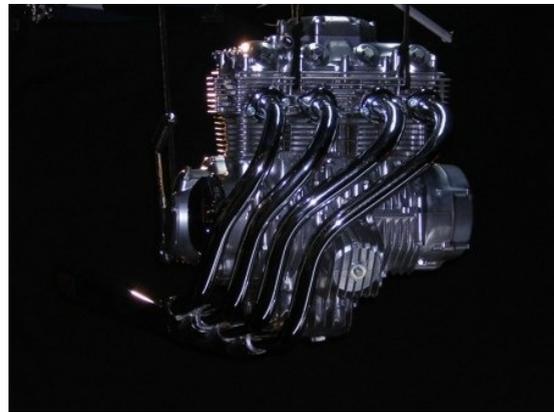
(ホンダ・CB750 K1)

2000GT、古さを感じない！トヨタ自動車とヤマハ発動機が共同開発し、ヤマハへの生産委託で1967年から1970年までトヨタブランドで限定生産されたスポーツタイプ(型式MF10)の乗用車である。



(トヨタ・2000GT)

懐かしの若き日の愛車として駆っていたCB400F・・・。



(ホンダ・CB400 4in1 OHC 16バルブ 4気筒 エンジン 408cc)



岡谷インターから国道20号で諏訪大社下社秋宮・諏訪大社下社春宮・万治の石仏に行く予定です。

諏訪湖を挟んで周辺にある4つの諏訪大社の内、南に上社、北に下社があり、さらに上社は本宮と前宮、下社は春宮と秋宮に分かれている。下社秋宮は旧中山道と甲州街道の分岐点にあます。



(諏訪大社下秋宮・青銅製の鳥居)

鳥居をくぐると御神木の「根入りの杉」が正面にあり、言い伝えには丑三つ時になると、

杉が枝先を下げて寝入り、いびきが聞こえるそうだ！？



(御神木・根入りの杉)

社殿へ向かう途中、龍の口から流れ出る霊験あらたかな「御神湯」で手と口を清める。



(温泉手水・御神湯)

神楽殿は三方切妻造りと言われる様式で、幣拝殿のような彫刻はありません。

正面の大きな注連縄(しめなわ)は御柱祭りの七年に一度、十二支の寅と申の年に行なわれる年に作り替えられ、約1トンの重さがあります。



(神楽殿)



(注連縄)

拝殿に向かって右側手前が「一之御柱」で、長さ17m・直径1mの樅(モミ)の樹で霧ヶ峰に続く東俣國有林に於いて伐採され、数千人の氏子が8本の柱を諏訪大社下社の二つの宮に4本ずつ奉納します。



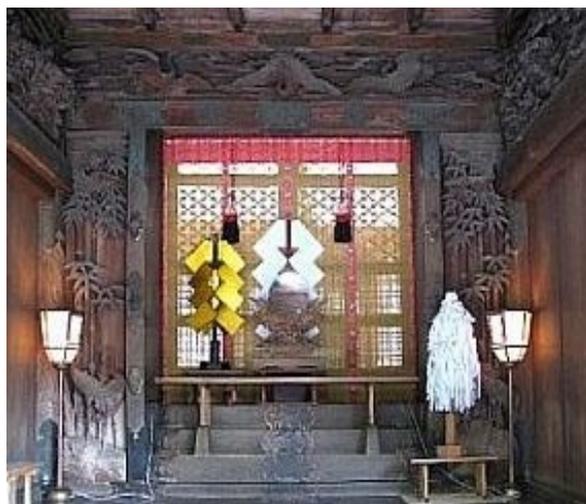
(御柱)

二重楼門造りの拝殿と左片拝殿及び右片拝殿が横に並び、鳳凰の彫刻や竹に鶴の彫刻を間近で見ることが出来ます。



(幣拝殿)

幣拝殿上部には大きな鳳凰の彫刻、ご神体の左右には竹に鶴の彫刻が見事に彫り上げられています。



(幣拝殿・御神体)

諏訪大社下社春宮から少し離れた無料駐車場に車を置いて参拝。



諏訪大社下社秋宮の人混みが嘘のように静かな境内、観光客が殆どいないです。



(諏訪大社下春宮・鳥居)

春宮の境内は秋宮と似ていますが、4つの諏訪大社の中で一番境内が狭いです。

神楽殿は江戸時代前期の1680年頃の落成だそうです。

諏訪大社下秋宮より規模は小さく、この神楽殿はガラス張りなのか？



(ガラス張りの神楽殿)

春宮の御柱、秋宮にも有りますが春宮の方が太かったです。

そもそも御柱とは何！？4本の御柱でエリアを囲んで魔除け？更なる聖域として守る為の  
結界？



(春宮・御柱)

春宮も秋宮も同じ形、二重楼門造りの拝殿と左片拝殿及び右片拝殿が横に並び、彫刻で見分けをするのかも知れないが見分けが付きません。



(幣拝殿)

境内の中にある二又に分かれているのに根元では、一つになっている巨大な杉の木、縁結びに御利益があるそうです。



(縁結びの杉)

27年前、オートバイツーリングで(遥かなる青空の彼方に 諏訪湖編に掲載)当時、来る事が出来なかった場所に今、来ている。

下社春宮の脇から外へ出て赤い橋を渡ってから、しばらく歩くと万治の石仏に到着万治の石仏を見た画家の岡本太郎さんや作家の新田次郎さんが絶賛。

高さ2mほどの半球状の自然石に頭が載ったユニークな石仏、言い伝えによると、諏訪・高島藩主が諏訪大社下社春宮に大鳥居を奉納するため工事を依頼し、石工がこの地にあった巨石にノミを入れた所、そこから血が流れ出し、驚いた石工が石に阿弥陀如来を祀ったとされる。

万治とは、万治三年と刻まれている事に由来する、万治三年は1660年なので、相当に古いです。

細かい紋様、袈裟をまとっている様なものがあるし、後ろ側も意外に大きいです。



(万治の石仏)



1回目の車検、以前から気になっていたフロントタイヤにクラック、エンジンからオイル漏れ、パワーステアリングオイルオイル漏れ、両側ウィンドウの作動時の異音を修理。

納品請求書チェックリスト

ページ 1 / 2

様

車台番号	車種	入庫日		
	COOPER S	2008/07/14		
登録日	初度登録日	型式	原動機型式	走行距離
2005/07/26	2005/07/26	GH-RE16	W11B16A	40,524
登録番号	ST F W No.	契約期限	契約距離	アホイ
		2008/07/25	999,999	

TEL1. [Redacted]  
 TEL2. [Redacted]  
 2008/07/19  
 R53 -W11  
 RE32-JEJE

作業明細 (車検整備)

S-R-H-01127

項目	作業CD/部品No	作業項目 / 部品名	工数/数量	単価	金額
A		車検整備 (スタンダード) 指定工場用	(K939)		
		タイヤローテーション 交換必要なら交換			
1	0024 009	法定24ヶ月点検整備	48	875	42,000
2	0024 100	車検代行料	18	875	15,750
3	9999 500	日常点検			
4	ZHAT UENT OU	フロント	787		787
5	DM00 027	自賠責保険料 (24ヶ月)	1	22,470	22,470
6	0001	車体検査印紙代 (指定工場: 全車)	1	1,100	1,100
7	1203	重量税 (1.0t~1.5t)	1	37,800	37,800
8	0099 001	高压洗浄機による下廻り洗浄・清掃	1	2,625	2,625
B		SFW ブレーキオイル交換	(K902)		
9	3400 525	ブレーキフルード交換 (ABS/ASC+T)	4		
10	ZPC	パーツ	1,260		1,260
11	8313 0139 902	ブレーキフルードDOT4 0.1L	199	10	1,260
C		タイヤ2本交換	(0099)		
12	0099 002	タイヤ2本はめ替え、バランス調整、廃タイヤ	1	6,300	6,300
13	0099 005	D 195/55 R16 87V SP3000	1	57,750	57,750
D		エアコンフィルター汚れ	(0099)		
14	6431 500	室内空気用マイクロフィルター交換	2	875	1,750
15	6431 1496 710	マイクロフィルター	4,473	1	4,473
E		サードランプ浮き	(0099)		
16	6325 500	補助ブレーキライト脱着/交換	1		
17	6325 6935 789	サードランプ	9,870	1	
F		パワーステアリングオイル漏れ	(0099)		
		(パワステオイルタンク~ポンプ間、インテークホース)			
18	3241 810	パワーステアリングのインテークライン交換	8		
19	3241 6754 498	インテークホース	2,625	1	

納品請求書チェックリスト

ページ 2 / 2

様

車台番号	車種	入庫日		
	COOPER S	2008/07/14		
登録日	初度登録日	型式	原動機型式	走行距離
2005/07/26	2005/07/26	GH-RE16	W11B16A	40,524
登録番号	ST F W No.	契約期限	契約距離	外ハイン-
		2008/07/25	999,999	

TEL1. [REDACTED]  
TEL2. [REDACTED]  
2008/07/19  
R53 -W11  
RE32-JEJE

作業明細 (車検整備)

S-R-H-01127

項目	作業CD/部品No.	作業項目/部品名	工数/数量	単価	金額
	20 8122 9407 758	パワステ油 CHF 11S 0.1L	294	10	
G :		オイル漏れ (エンジンマウント)	(0099)		
	21 2211 501	右エンジンマウント交換	4		
	22 2211 6766 753	ボルト M10X125	1	315	
	23 2211 6778 610	エンジンマウント	1	13,440	
H :		両側ウィンドウ作動不良	(0099)		
	24 6762 510	フロント両側パワーウィンドウモータ脱着/交換	26		
	25 6762 6955 875	ウインドモータ LH	1	17,745	
	26 6762 6955 876	ウインドモータ RH	1	17,745	

毎度ありがとうございます。  
整備料金は現金またはカードにてお願い  
致します。ご不明な点がございましたら、  
請求書番号を引用の上、お申し出下さい。

工賃合計額	59,500	その他費用	61,370
部品合計額	6,520	前受金 ▲	77,120
その他課税額	66,675		

税込合計金額 132,695  
(内消費税額 6,318)

ご請求金額 116,945

担当営業 :

担当メカ :

個人情報の取扱いにつきましては裏面に記載しております。

茶臼山(ちやうすやま)は、愛知県北設楽郡豊根村と長野県下伊那郡根羽村の境界にある山で愛知県の最高峰・標高1415.2m。



自宅から走りなれた金指街道から国道257号で山道を軽く流して、道の駅・鳳来(三河三石)ここから、しばらくは休憩場所がないのでトイレ休憩をします。  
しばらく走ると国道151号(別所街道)のTの字交差点、右折しても左折しても軽快な峠道で茶臼山には行けます。

伊那街道(県道32号・436号)を走り国道257号(鳳来街道)で、設楽町の酒蔵・関谷醸造に寄り道!

ここの蓬莱泉(ほうらいせん)「純米大吟醸・空」は美味い! 蓬莱泉の人気No.1商品です。上立ち香は果実のように上品に香り、含むと造りの綺麗さを感じながらも程良い甘味が心地よく、最低一年以上熟成されて出荷されるこのお酒は、落ち着いた味わいが低温熟成ならではのです。



(蓬萊泉関谷醸造株式会社ホームページより)

蓬萊泉を買って、再び国道257号で茶白山を目指します。

設楽町から、しばらく走ると赤い橋(設楽大橋)を渡り、最後の快適な峠道を越えると視界が開けて、なだらかな平凡な道に変わります。

ここからは、茶白山高原道路入口にある【アグリ・ステーション・なぐらな】を目指します。

茶白山高原道路は路面状態が良くタイヤの食い付きが、いい快適な高速・低速コーナの連続道は走り屋には、たまらない道です。

夏の早朝、運が良ければ頂上付近で野生の鹿と雲海が見えます。

茶白山高原道路は、延長14.2kmの道路で今年2008年(平成20年)4月13日に全線にわたって無料開放されました。

茶白高原道路は無料開放前の通行料は軽自動車・二輪車990円・普通車の1460円と通行料が高く、昔はオートバイで中々、走ることが出来なかったです。



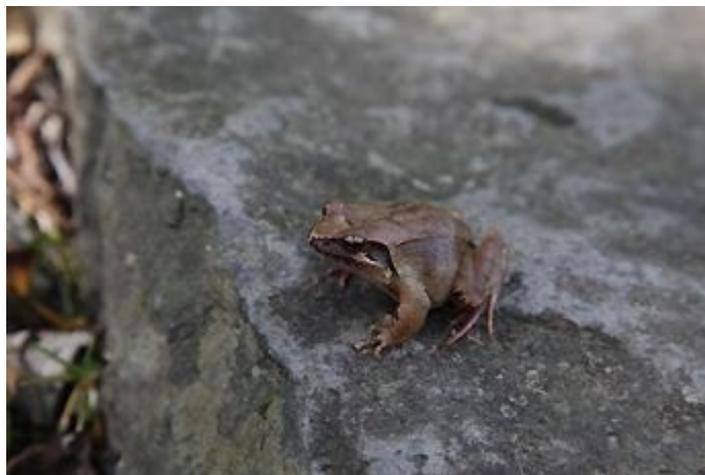
(茶臼山高原道路入口付近)

レストハウスの前の駐車場に車を置いて久しぶりの茶臼山を散策。

昔はオートバイで有料道路だけを走っていたので、高原を歩いて散策するのは初めて・・・。

池の湖畔でカエル館の案内看板を発見！

茶臼山で発見されたワンと鳴く、新種のネバタゴガエルをはじめ南信州及び奥三河に生息しているカエル14種類を飼育展示(入場料・大人400円)しています。



(ネバタゴガエル 写真はカエル館ホームページより)

カエル館を後にして観光リフトに乗らずに観光客は歩かない遊歩道を歩いて、頂上に向かう途中で面白い看板を発見しました。

大の散歩てえ?! 大(糞)にリードを付けるのかあ?

同じ看板が、あと数枚ありました。





(看板に誤りあり!)

頂上の遊歩道には、来る時期が遅かったので花が終わった、水芭蕉の群生があるだけでした。

頂上のリフトの係員に看板の誤記を話し帰りは、リフトに乗って下山しました。



日本を代表するダムの一つであり、富山県東部の黒部川上流に建設されたアーチ式コンクリートダム、発電に利用する水を確保することを主目的として、関西電力によって建設され、ダムの高さ(堤高)は186mで、日本一を誇り現在でも破られていない。北陸自動車道・黒部インターで降り、県道14号で宇奈月温泉に向かいます。



(黒部インターをすぐの案内標識)

比較的に入交通量が少ない快適な県道14号でした。



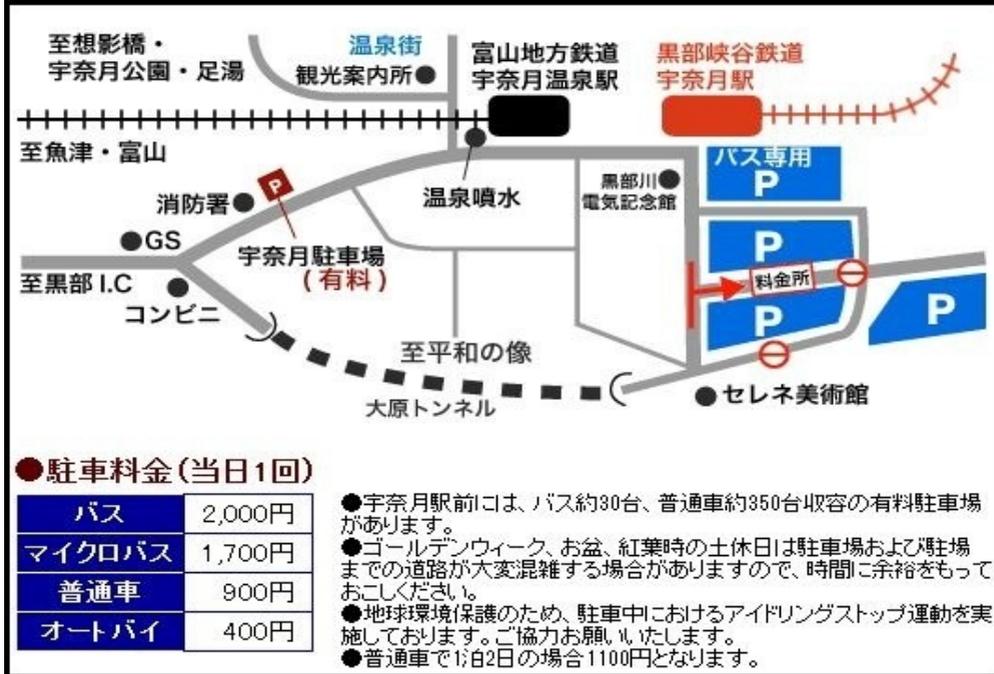
(県道14号黒部宇奈月線)

ここまでくれば、あと少しで到着です。

東名高速自動車道での渋滞の影響で、宇奈月温泉・宇奈月駅前の駐車場に予定時間より2時間遅れで到着しました。



(黒部峡谷鉄道宇奈月駅前)



(黒部峡谷鉄道宇奈月駅前駐車場)

自宅から黒部までは、さすがに遠い渋滞を予想していたが、出発時間をあとに2時間早くすれば良かった・・・。

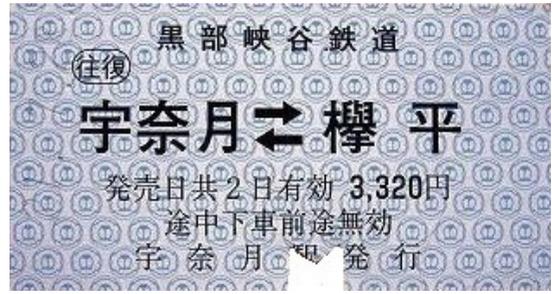
まずは、時刻表を確認してから軽く食事をして、ご当地定番のソフトクリームを食べました。

お腹が満たされたので、駅の窓口へ向かい乗車券を購入。



(窓口と発車時刻表)

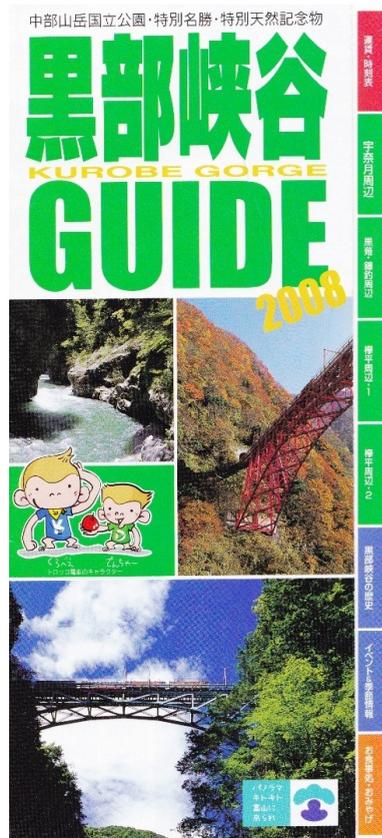
意外と待ち時間がなく、乗車券を買う事が出来ました。



(発車前の車内からの構内)

(持ち帰りが出来る乗車券)

黒部峡谷鉄道は小さなトロッコ車両のため、立っての乗車は不可能で全列車定員制を採っています。指定席ではないのですが、号車番号が指定されます、トロッコ電車の愛称で親しまれ車窓からは、秘境・黒部峡谷の美しい景観が楽しめます。



(ガイドマップ)



(沿線マップ)



平均時速15キロのゆっくりとしたスピードで、ガタゴトとのんびり走り宇奈月駅を出発して、しばらくすると鉄橋を渡りとトロッコ列車は、日本一の峡谷、最後の秘境と呼ばれる溪谷美の中に吸い込まれていきます。



(黒部川を渡る鉄橋付近)

有名な新柳河原発電所、ヨーロッパの古城をデザインで引き込み線が発電所へ入っていました。



(新柳河原発電所)

トロッコ電車が進むにつれ溪谷は深くなり、途中で吊橋が見えてきますが、この吊り橋は猿が渡るためだそうです。



(猿が渡る吊り橋付近)

数え切れないくらいのトンネルを通過し、トンネル通過中は電車の音が反響して、ものすごい音です！



(轟音の中トンネルを通過)

お互いの会話が聞こえないのでトンネル通過時は無言・・・。

黒部峡谷の自然を満喫していると途中の釣鐘駅で停車、スイッチバックの体験をしました

。



(釣鐘駅でのスイッチバック)

上りのトロッコ電車がホームに入ってきて、スイッチバックが終わり再出発すると、再び大パノラマが広がってきます。



(釣鐘駅からしばらく走った付近)

V字溪谷の木々の合間から、青く透明な水の色が眼下に見えます。



(釣鐘駅からしばらく走った付近)

宇奈月駅から20.1 Km、いくつもの橋やトンネルを走り向けて断崖絶壁の岩山や深い谷の下を流れる黒部川、青く透明な水の色が印象的な大自然の小さくて大きい旅を体感して1時間20分で榎平駅に到着しました。

駅の広場は少し硫黄の臭いがし、風は涼しいけれど日射しが強いです。

帰りのトロッコ電車の時間と遊歩道の往復時間を確認して、考えると猿飛峡の往復時間で出発時間になってしまう・・・。



(榎平駅前)





(猿飛山荘付近)

途中のトンネルでは灯り取り取りの窓はあるものが足下は、ほぼ真っ暗です。



(猿飛峡の途中のトンネル)

宇奈月駅から猿飛峡までの登り降りの細い道や岩をくりぬいた通路、狭い暗いトンネルを通り遊歩道900mを歩いて猿飛峡に到着、猿飛峡は、黒部ダムから流れ出た黒部川の水が狭くなった所です。



(猿飛峡)

何とも言えない景観、大きく急に狭く曲がり峡谷ならではの厳しい姿、雄大な自然を身近に感じました。

来た道に戻り榊平に到着した時は日も、だいぶ傾き始めてトロッコ電車の出発の時間も迫っていました。



(榊平)

出発時間の10分前に駅構内に到着、この時間に成ると構内は混雑しています。



(出発10分前！)

(白エビの刺身！)

宇奈月駅に着いて、富山特産の白エビを食べ、軽く食事を済ませてから帰路に着きました。

。

霊峰富士の胎内より湧き出でる八つの泉は、昔から「神の泉」と崇められ、いくつもの「伝説」が語り継がれています。

忍野八海は八つの湧水池から成りその昔、忍野村は「宇津湖」という湖だったそうですが、延暦に富士山が大噴火し、そのとき流れた溶岩流によって、湖は山中湖と忍野湖に分かれてしまいました。

忍野湖は富士五湖と関連する一つでしたが、川の浸食や掘削排水のため枯れてしまい忍野八海は、その時残った富士山の伏流水の湧出口の池として、今日存在しています。



御殿場インターから御殿場御バイパスを走り、国道138号で山中湖を通り過ぎた辺りから渋滞が始まり忍野村まで、数キロの所まで来ているのに1時間掛かり何とか到着しました。

忍野八海の手前に村営無料駐車場が有って駐車場から池までは、ゆっくり歩いて約10分の距離です。

ここは、有料駐車場入口の脇を入った所なのですが、多くの人は奥の無料駐車場まで行かずに、係員に案内されて有料駐車場へ入っていました。

忍野入口の信号を曲り、すると忍野八海と言う標識が見えて来たら直進し、カーブの先に浅間神社があって、その隣が駐車場です。



(忍野八海案内)



(無料駐車場案内図)

無料駐車場に車を停めて忍野八海に向かいます。



(忍野八海案内図)

忍野八海の中心部には中池と言うとても目立つ池があります。

池の中心部には水深8mの湧水口があり、そこへは売店の中を通らなければ行けません。

この池は、売店の人が作った人工的な池で、忍野八海には含まれてはいないのです。

番外編の池の方が沢山の観光客に有名かも・・・。

行って見ると人の流れに誘われて、中池を見学していました。



(中池)



(アルノビのニジマス)

池の中央には神の水が噴出、龍の置物は休む事なく吐き出す湧水。  
何故か龍の置物は傷だらけ、無意味な破壊行為はやめましょう。



(忍野八海神の水・日本名水百選)

茅葺屋根の民家や水車小屋、忍野八海の湧水の内の一つ底抜池だけは、榛(はん)の木資料館で300円の入場料を払います。

この大きな池の奥に底抜池はあって、大きな池は豊富な湧水を溜めた人工の池で八海には数えないです。



(榛の木資料館案内看板)

忍野八海の隣にある、榛の木資料館、昔懐かしい景色を楽しみながら、昔の人の知恵を工夫した沢山の農機具を見学でき、民家の中も見学できます。

入場料が300円掛かりますが、築200年の民家を拝見するだけでも十分その価値があると思います。



(榛の木材民族資料館)

中池とお土産屋さんで団体の観光客の足は止まって、忍野八海を回っている巡礼する八湖信仰を知らない人が、ほとんどいないです。

忍野八海は「富士御手洗元八湖」といわれ、富士信仰の霊場でもあり角行の修行になぞらえたもので、角行を拝めることから形成された習慣であると推測されます。

それぞれの池を巡礼する八湖信仰というものが江戸時代以降に存在していました。



(湧池)



(鏡池)



(濁池)



(菖蒲池)



(銚子池)



(お釜池)



(出口池)



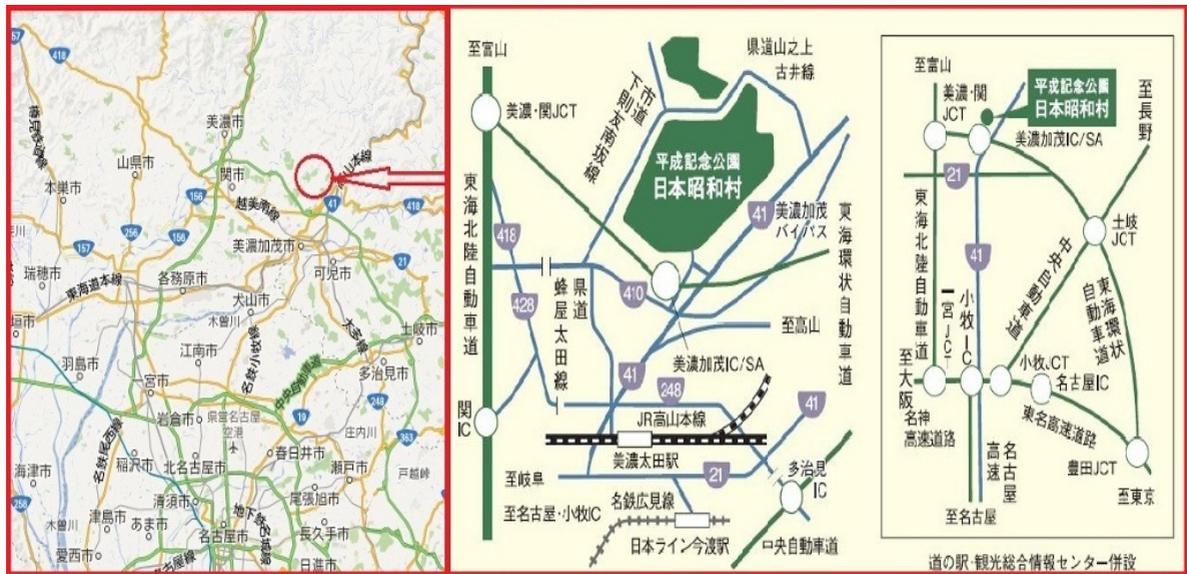
(底抜池)

忍野八海を回り、軽く食事を済ませてから帰路に着きました。



平成15年4月、岐阜県美濃加茂市にオープンした日本昭和村(名誉村長は女優の中村玉緒さんは、懐かしい昭和30年代を体験できる施設で、若くて希望に満ちていたあのころがよみがえってきました。

来場者は早くも百万人を突破する盛況ぶり今、岐阜県の人気スポットです。



カーナビの地図が古いのか？日本昭和村が載っていない・・・。

仕方がなく、だいたいの住所で目的地を登録して出発です。

カーナビ任せで走った所、多治見インターで降りてからは、カーナビの指示で右に曲がったり左に曲がったりして、登録した住所に着いたが、カーナビの地図の現在地は山の中、ここは何処！日本昭和村が何処にもないです・・・。

案内標識も無く絶対に近くに来ている、はずなのに中々たどり着けない、感で走っていたら案内標識が！



(やっと見つけた案内標識)

だいたいの住所で目的地を登録したのが間違えの元だが道に迷った時は、一時はどうなるかと思いましたが係員の誘導で駐車場に到着しました。



(日本昭和村駐車場)



(日本昭和村入場門付近)

無料駐車場が第1から第3まであって、3000台の広い駐車場に車を止め、日本昭和村の入口に向かいます。



(日本昭和村入場門)

入園料800円を払って、レトロな造りの門をくぐって中に入ると昭和村の表示石があり、ここは記念撮影ポイントですね。



(日本昭和村入場門付近)

昭和の街を再現した、街エリアで色々体験したり食べたりと一番賑わう場所です。



(昭和街再現付近)

園内を散策していると懐かしい木造校舎が見えてきました。

今から113年前(明治31年)に旧、宮小学校として建てられた【やまびこ学校】ここは、日本昭和村のパフレットの表紙にもなっているいわゆる昭和村の顔です。

自然の木を使い小物から本格的な作品まで木工体験できる所です。



(やまびこ学校)



(トヨタ・クラウンRS10型)

ここは、日本の昭和初期の里山をイメージして作られて、とってもものどかな雰囲気漂っ

ています。

自転車で「黄金バット」の紙芝居、昔の郵便ポスト幼い頃にありましたね！

縁日仲見世には、駄菓子屋さんがあって、昔なつかし駄菓子が売っています。

施設には、ほとんど入りませんでした。昔懐かしい遊びや、工作をする施設、他に乗馬やゴーカートもありました。



(黄金バットの紙芝居)



(縁日仲見世付近の郵便ポスト)

村エリアにある、そば屋『とうげ』で山菜そば麺を注文し、太さがまばらで手作り感が出て、置いてあった七味には、ゴマが入っていてゴマ風味が美味しさを増します。



(山菜蕎麦)

この七味は、お土産屋さんにも売っていたので買ってしまった。

自然ふれあいゾーンでは、芝すべりの前に仮面ライダーにウルトラマンがお出迎えです。



(仮面ライダーとウルトラマン)



(痛みが激しいけど、まだ現役！)

座ってお金を入れると前後に動く乗り物、昔は10円を入れると動いたなあ。

人が、いなかったら乗りたかった・・・。

しばらく歩くと動物ふれあい広場に出て、羊・ポニー・マラ・ウサギ等の動物と触れ合えて引馬やトレッキングが出来るスペースがあります。



(ふれあい広場の羊・ポニー)

牧場に隣接してボート乗り場もあります。



(ボート乗り場)

天気が良かったので、ずっと外を散歩していて日差しは強いものの、風は心地良いので日陰は涼しかったです。

自然ふれあいゾーンには、コスモスが一面に咲いている場所であって背丈まで伸びた50万本のコスモスは綺麗です。



(咲き乱れる50万本のコスモスの前で)

帰り道に玉緒の店に寄ると店の中は意外と狭く観光客で混雑して、お土産のおかきを買うのも一苦労でした。



(名誉村長・中村玉緒の店)



(昭和村のお土産)

正面入り口の方まで戻って、珍しいものを発見！

建設工事中に偶然出てきた約2000万年前の巨大な樹木の化石、珪(けい)花木(かぼく)と言

って立木のまま火山灰に埋もれて化石になったもので、触った感じ木のような岩のような・・・。

しかも、直径2.5mは日本最大級、高さ1.6m、最大周囲は7.8m、そして重さは11t、こんなでっかい樹の化石が一番奥の野外活動ゾーンにある牧場付近から出てきたそうです。大きいので、パッと見た目は岩にしか見えない・・・。

近くにもっと細い珪花木も、これだと樹木である事が良く判ります。



(日本最大級11 t 珪花木)



(細い珪花木)

広い駐車場も考えもんで歩いて車に、たどり着くまでに疲れてしまいます。

春は新緑、夏は避暑、秋は紅葉、そして残雪(冠雪)の白山眺望や大小の滝が流れ落ちる溪谷美とブナ原生林など数々の魅力を秘めています。

大自然のすばらしさとその尊さを存分に楽しませてくれる国立公園内の山岳ドライブコースです。

林道といっても2車線の立派な舗装路で観光バスも通って、しかし白山スーパー林道は、二輪車通行禁止なのです。



岐阜県(世界遺産の白川郷)と石川県を結ぶ唯一の有料山岳道路、標高は600m~1450m、全長33.3kmで所要時間は約1時間。

東海北陸自動車道の途中、ひるがの高原サービスエリアで休憩、この時間帯で気温6℃寒い、でも観光客で混雑しています。

東海北陸自動車道・白川郷インターで降り予定通りの時間に到着しました。

国道156号を右折し、白山スーパー林道の看板を右折して馬狩料金ゲートに向かうと約20台位の車がゲート開門待ちをしていました。



(白川郷インター出口付近)



(白山スーパー林道出入口付近)

開門時間に成るとゲート前に停まっていた車は次々とゲートを通り過ぎて、紅葉の峠の向うに消えていきました。



(馬狩ゲート入口付近)

白山スーパー林道の概要																							
●区 間	岐阜県大野郡白川村鳩谷地内から石川県白山市尾添地内まで																						
●延 長	33.33 km (石川県18.591mうち有料区間14.091m 岐阜県14.740mうち有料区間10.440m)																						
●幅 員	6.5m 全線舗装2車線																						
●料金表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>車種区分</th> <th>利用料</th> <th>往復割引券</th> <th>回数利用券</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通車</td> <td>3,150円</td> <td>4,890円</td> <td>27,520円</td> </tr> <tr> <td>大型車 (I) マイクロバス</td> <td>9,370円</td> <td>14,670円</td> <td>82,570円</td> </tr> <tr> <td>大型バス等 (II)</td> <td>21,000円</td> <td>32,620円</td> <td>91,740円</td> </tr> <tr> <td>軽自動車</td> <td>2,540円</td> <td>4,070円</td> <td>22,930円</td> </tr> </tbody> </table>			車種区分	利用料	往復割引券	回数利用券	普通車	3,150円	4,890円	27,520円	大型車 (I) マイクロバス	9,370円	14,670円	82,570円	大型バス等 (II)	21,000円	32,620円	91,740円	軽自動車	2,540円	4,070円	22,930円
車種区分	利用料	往復割引券	回数利用券																				
普通車	3,150円	4,890円	27,520円																				
大型車 (I) マイクロバス	9,370円	14,670円	82,570円																				
大型バス等 (II)	21,000円	32,620円	91,740円																				
軽自動車	2,540円	4,070円	22,930円																				
<small>●有料区間でのリターンは外道料金にて領用いただけます。            ●往復割引利用者の有効期間は5日間です。            ●回数券は料金徴収所以外に岐阜県森林公社でも販売しております。            ※料金は電子帳簿方式のうえ窓口にて現金とさせていただきます。</small>																							
●供用期間	6月上旬～11月10日																						
●供用時間	区 分	供 用 時 間	出口閉門時間																				
	6月～8月	午前7時～午後6時	午後7時																				
	9月～11月	午前8時～午後5時	午後6時																				
<small>(変更することがあります)</small>																							
●通行規制	種類	通行注意	通行止め																				
	気象条件	時間雨量 20mm 24時間雨量 50mm 連続雨量 60mm 濃霧視界 50m 最大風速 10m/sec	時間雨量 25mm 24時間雨量 70mm 連続雨量 80mm 濃霧視界 20m 最大風速 15m/sec 積雪・凍結時																				
<small>◆通行禁止 二輪車・軽車両・歩行者は通行できません。            ◆夜間駐車禁止 林道内は夜間駐車及び野営はできません。</small>																							

(白山スーパー林道概要)



(白山スーパー林道利用券)

料金所を抜ける山肌が赤色や黄色に染まり所々に緑色が混ざって綺麗と思って、よそ見を

していると急勾配になり、本格的なスーパー林道区間に突入とは言うものの、センターラインの引かれた2車線道路で、道面荒れては無く状況は良いです。

名は林道ですが実際は観光道路で急勾配とカーブが続いて、制限速度は20km/hとかなり低いです。



(蓮如台トンネル入口付近)



(国見山付近)

後方に車が居なかったの景色を見ながら、ゆっくり走っていると前に走っていた数台の車は、すでに見えなくなっていました。

場所に寄っては紅葉が終わっている場所もあって、三方岩岳駐車場に車を置いて少し歩いて見ました。



(三方岩岳駐車場付近だと思います?)

ふくべの大滝駐車場に入るのに一苦労で、駐車場に入る観光バスや車、出る車の駐車場の取り合いで混雑していて、譲り合いの気持ちが無くなっているドライバー達には、気を付けないと！

接触事故の巻沿いは、嫌なので中宮料金所でUターンして戻って来る事にしました。



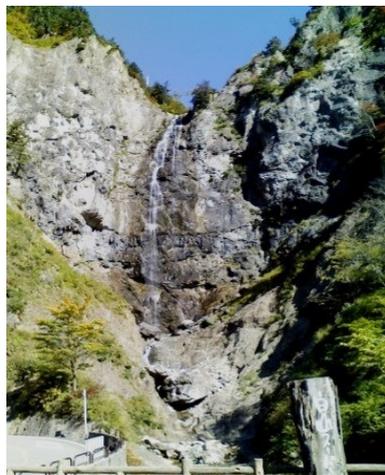
(中宮料金所の手前でUターン)



(石川県・岐阜県の県境看板)

中宮料金所に向う時は前後に車が、いなかったなのでトンネル内の県境看板の写真を撮るタイミングを合わせチャレンジ！

中宮料金所の手前に、Uターンのスペースがあるので対向車に注意しながらUターンをして戻って来た時は、混雑も解消していて簡単に車を停める事が出来ました。



(ふくべの大滝駐車場)

蓮如茶屋駐車場まで戻り、持参のお弁当を食べて休憩です。

蓮如茶屋は、岐阜県側にある馬狩料金所から入って、最初の駐車場で標高1200メートル、白山スーパー林道の有料区間で唯一の売店と食堂がある施設です。



(蓮如茶屋駐車場)



(白川展望台から見た駐車場)



(蓮如茶屋駐車場を下から見た風景)

下り対向車線の馬狩料金所ゲートからの対向車線は、長い渋滞の列が国道156号まで続いている様でした。

近くにある白川郷合掌造り集落に寄る事にして、寺尾臨時駐車場に車を停める事が出来ました。

駐車料金500円を払い、駐車場から歩いて国道156号の歩行者専用地下道を歩いて、せせらぎ公園駐車場の隣接している、お土産屋さんを物色。



(臨時駐車場地図)



(観光案内地図)

お土産屋さんの前にある野外博物館(500円)に入る観光客は誰もいません穴場です。主屋だけでなく神社やお寺本堂、水車小屋等があり、主屋は屋根裏まで見学で、なかでも山下家は白川村に現存する数少ない18世紀の合掌造りです。



(野外博物館の前で)



(野外博物館)

とりあえず記念写真を撮って、せせらぎ橋に渡って集落に向かいます。冬は雪深い山の中に、あるかやぶき屋根の家の集まった集落で古き良き、一般的な里山を連想しそうなところですが、一般的ではなく独特な庶民文化が世界遺産たる所以だそう

です。合掌造りは、この地方の重い雪から家屋を守る為、屋根は60度もの勾配の斜度の付いた、かやぶき屋根で内部を二層から四層にして有効に使って屋根裏は広く木造四階建て、一階は居住空間、中二階は寝室、二階と三階は養蚕の作業場、四階は物置です。

白川郷・五箇山の合掌造りは、岐阜県と富山県にまたがり、冬の険しい山間部の大雪に長い年月に渡って耐え、養蚕するために工夫された特別な特徴を持っている建造物です。



(四階建て造りの合掌)

白川郷・五箇山の合掌造りの主な登録物件として、岐阜県白川村萩町集落にある59棟です。

実際に民家というよりは、博物館等の観光施設といった感もあって、民宿を営んでいる家が多いそうです。

30年前にオートバイツーリングで来て、合掌造りの民宿に泊まったけど、街の雰囲気随分変わってしまって、お土産屋さんが多い事にビックリです。



(合掌造りのお土産さん)



街並みを散策していると御当地のマンホールを発見！



(ご当地マンホール)

街の外れまで来ると三善寺があります。

明善寺鐘楼門は、木造二階建ての鐘楼門の一階は寺への通路、二階には銅鐘が吊られて、屋根は茅葺きという特異な形で、享和元年(1801年)に建てられたとされており、岐阜県文化財に指定されています。



(明善時の鐘楼門)

白川郷の散策も一通り終わって、せせらぎ橋まで戻って来ました。

駐車場に向かう観光バスの団体と一緒に橋は満員、鉄筋で出来ている橋が揺れます・・・。



(せせらぎ橋から澄み切った川を見る)

駐車場に戻って今朝、通った国道156号を戻って東海北陸自動車道・白川郷インターから帰路に着きました。



(東海北陸自動車道・白川郷インター入口)